

# 令和4年度 岐阜県立飛騨高山高等学校全日制アンケート結果

## 生徒用 (7月実施)

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

対象	人数	回収数	回収率
各組10名	290	275	94.8%

※A Bを肯定的評価、C Dを否定的評価とする。番号は、本年度の質問項目の番号である。

### <肯定的評価A Bの上位項目>

番号	項 目	本年度	昨年度
18	本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている。	97%	92%
36	隣同士またはグループでの意見交流や、仲間の意見を聞いて考え合う授業をとおして、自主的・主体的に学ぶことができている。	97%	93%
8	専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる先生が多い。	97%	91%
34	本校では、進学・就職指導、資格取得や検定合格に向けての指導に熱心である。	96%	88%
2	本校に入学できてよかったと思っている。	96%	97%
・今年度は36項目中、肯定的評価が80%以上の項目が34、90%以上の項目は30あった。肯定的評価の割合が非常に高い結果となった。コロナ禍3年目となり、生徒達も様々な意味でこの状況に慣れ、学校生活を前向きに捉えられてきている。			

### <否定的評価C Dの上位項目>

番号	項 目	本年度	昨年度
31	学校では、キャンパスや学科をこえた交流（学習・行事・部活動）がオンライン等も利用しながら活発に行われている。	16%	14%
5	家庭で学校に関する話をしている。	11%	17%
4	本校からの連絡文書等は、保護者に届けている。	7%	4%
17	総合的な学習（探究）の時間（普通科等）・課題研究（専門科）の内容は自分にとって有意義である。	7%	11%
30	本校では、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	7%	7%
・昨年度は、否定的評価が5%を超える項目が31あり、全体の約86%を占めていたが、本年度は否定的な評価が5%を超える10項目となり、全体の28%となった。31番の両キャンパスや学科をこえた交流については、10月に文化祭を岡本キャンパスを会場として、両キャンパスの生徒が集まる予定である。			

### 肯定的評価A Bの比較的低い（85%未満の）項目

番号	項 目	本年度	昨年度
13	本校の先生は、働き方改革に努めている。	74%	49%
31	学校では、キャンパスや学科をこえた交流（学習・行事・部活動）がオンライン等も利用しながら活発に行われている。	79%	71%
・昨年度は80%未満の項目が11項目あったが、今年度はわずか2項目だけとなった。昨年度との単純比較は難しいが、様々な面で職員が改善を図り、また生徒達が物事を前向きに捉えられるようになってきたことが大きいのではないかと考えられる。			